

# みんぱくワールドシネマ

映像から考える〈人類の未来〉



## 最後の渡り鳥たち

第55回上映会

2023年 **9月30日** [土] 13:30~16:00(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 みんぱくインテリジェントホール(講堂) **要展示観覧券**  
定員 350名  
主催 国立民族学博物館  
協力 Director: İffet Eren Danişman Boz (Turkey) / 東京国際映画祭

関西初上映

The Last Birds of Passage / Turna Misali

2021年/トルコ/トルコ語/99分/日本語字幕付き

監督/イフェト・エレン・ダニシュマン・ボズ

出演/シエンヌル・ノガイラル ネジメティン・チョパンオウル

司会 菅瀬晶子 (国立民族学博物館 准教授)

解説 松原正毅 (国立民族学博物館 名誉教授)

### お申込みについて

事前申込制(先着順)での開催となります。  
代表者を含め2名までお申込み可能です。

【受付期間】2023年8月28日(月)10:00~9月22日(金)16:00

※定員になり次第受付終了。

※解説時に手話通訳が必要な方は、9月8日(金)までにお申込みいただき、その旨をお知らせください。

予約状況はイベント予約サイトでご確認ください。

事前申込の方へ、当日11:00から本館2階会場前にて展示観覧券を確認後、入場整理券を配布します。定員に満たない場合のみ当日参加を受付けます。

### 申込方法

#### ● イベント予約サイトからのお申込み

[イベント予約サイト]

<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>

#### ● 電話でのお申込み 次の必要事項をお知らせください。

- ① イベント名 ② 参加人数(代表者を含め2名まで) ③ 氏名(漢字、フリガナ)  
④ 連絡先(固定電話/携帯電話/メールアドレス いずれか) ※③、④は代表者のみ

【申込先】企画課博物館事業係イベント予約受付 Tel:06-6878-8210(10:00~16:00 土日祝除く)



イベント予約サイト



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

関西から

文化力  
POWER OF  
CULTURE

# みんなくワールドシネマ

## 映像から考える〈人類の未来〉

国立民族学博物館は2009年よりさまざまなテーマを設定し、研究者による解説付きの映画上映会「みんなくワールドシネマ」を開催してきました。今年度も「映像から考える〈人類の未来〉」をテーマとし、世界の人びとのさまざまな生活・考え方を描いた映画をとおして、よりよい未来を考えていきます。今回の作品は、自然とともに暮らしてきた伝統的な遊牧民の生活が、近代化の波でいかに変化しようとしているかを描いたトルコ映画「最後の渡り鳥たち」です。古くから伝えられてきた生活の継承と、時代とともに変わらざるをえない現実的な状況との葛藤の物語をとおして、遊牧民の未来について考えてみたいと思います。

### 第55回上映会

2023年9月30日(土) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂) **要展示観覧券**

定員 350名 事前申込の方へ、当日11:00から本館2階会場前にて展示観覧券を確認後、入場整理券を配付します。

主催 国立民族学博物館

協力 Director: İffet Eren Danişman Boz (Turkey) / 東京国際映画祭

## 最後の渡り鳥たち 関西初上映

### The Last Birds of Passage / Turna Misali

2021年 / トルコ / トルコ語 / 99分 / 日本語字幕付き

監督 / イフェト・エレン・ダヌシュマン・ボズ

出演 / シェンヌル・ノガイラル ネジメティン・チョンオウル

司会 菅瀬晶子 (国立民族学博物館 准教授)

解説 松原正毅 (国立民族学博物館 名誉教授)

#### 映画解説

地中海に面するトルコ南部を舞台に、近代化の波に翻弄される遊牧民(ユルク)一家の葛藤を描く、関西初上映作。足腰の弱った夫を支えて家庭の中心を担うギュルスムは、季節に伴い家畜を引き連れ移住する伝統的な暮らしを頑なにまで尊重してきたが、政府が進める定住化へと心が動く夫や娘夫婦の説得に遭い、苦悩を色濃くしていく。本作でデビューを飾るイフェト・エレン・ダヌシュマン・ボズ監督は、撮影監督を務める夫と数年にわたり取材を重ね、脚本も共同で執筆。高齢の両親や子どもの将来への負担を危惧し、高価なトラクターを購入してでも新しい生き方を模索する娘夫婦が抱えるジレンマのみならず、遊牧を断念して定住を望んだ人びとの複雑な胸中をも、丹念に映し出す。選き母の記憶がなく、親代わりのギュルスムを敬慕し甲斐甲斐しく手伝う孫娘や、自らのルーツでもある遊牧民に惹かれ、持参したテントに寝泊まりしながら一家と生活をともにする男性教師の澁刺たる姿、家族のごとく悠然と振る舞うヤギやラクダたちの生き生きとした表情が、伝統を継承する意義を静かに謳う佳篇。(映画評論家 服部香穂里)

#### 人類史における遊牧の意味を探るために

「最後の渡り鳥たち」は、興味深い映画だ。ここでは、遊牧民ユルクたちがトルコの政治社会状況のなかで翻弄される現在が静かな語り口で描きだされている。さらに、多様な人生の交錯が淡々と表現される。全編を通じて声高な主張は前面にでてこないが、人類史における遊牧の意味を思索するうえで強い衝撃力をそなえた作品といえる。

遊牧は、人類史のなかで古い起源をもつ生活様式である。5~6万年前ころにアフリカ大陸から西アジアに移動した現生人類は、はじめて野生ヒツジ群や野生ヤギ群に遭遇する。これらの野生動物群は、いずれも西アジア原産である。野生ヒツジ群や野生ヤギ群に遭遇した現生人類の一部の集団が、やがてゆるやかな共生関係を構築するようになる。この両者の共生関係が長期にわたって持続するなかで、搾乳や去勢の技術が導入された。ここに、遊牧の起源がある。共生関係の構築の網は、野生のウシやウマ、ラクダに拡大する。農耕との接触などを通じて、家畜化が進行した。

厳しい状況のなかで遊牧生活を継続するユルクにおいても、家畜群との共生関係の構築の重要性はうしなわれていない。この映画からも、家畜群を媒介とする自然との共生の大事さがつたわってくるだろう。(松原正毅)

## 映像から考える〈人類の未来〉

国立民族学博物館 准教授 菅瀬晶子

映画がこの世に誕生して、120年あまり。最初は日常生活の一端を切り取ったものでした。いまや日本では年間に1300本に迫る数の映画が公開され、その内容も多種多様です。世界のさまざまな地域で、現在進行形で起きている問題を扱う作品も年々増えてきました。問題意識を喚起する手段として、映画は実に有効なのです。

みんなくワールドシネマでは、所属する研究者の個別研究や現在進められている研究プロジェクトの内容に沿った映画を選び、その内容を研究者が解説することによって、最新の研究成果と映画のより深い理解を観客のみならずと共有することを目的としています。紛争、差別、環境変動などを超えて、異なる価値観を持つ人びとはどう共存してゆくべきか。終映後、あらたな視座がみなさまの中に生まれれば、さいわい입니다。



©IEDB Film

### 企画展 カナダ北西海岸先住民のアート —スクリーン版画の世界

2023年9月7日(木)~2023年12月12日(火)

場所: 国立民族学博物館 本館企画展示場

観覧料: 一般580円、大学生250円、高校生以下無料

### 特別展 交感する神と人

—ヒンドゥー神像の世界

2023年9月14日(木)~2023年12月5日(火)

場所: 国立民族学博物館 特別展示館

観覧料: 一般880円、大学生450円、高校生以下無料

●本館展示もご覧いただけます。



クリシュナ神の誕生祭用に着飾られた神像。信者は各家庭でミニチュアの衣装や持ち物を用意し、神像に華やかに着付け、神の誕生を祝う。

### 次回作品 2024年1月27日(土)予定

## はちどり

House of Hummingbird / 별세

2018年 / 韓国 / 韓国語 / 138分 / 日本語字幕付き

監督 キム・ボラ

出演 パク・ジフ キム・セビョク



©2018 EPIPHANY FILMS. All Rights Reserved.

## 国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

●開館時間..... 10:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)

●休館日..... 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

#### 交通のご案内

●大阪モノレール... 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分

●バス..... 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

●乗用車..... 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。

同園内を無料で通行できます。

※高校生以下の方、国立民族学博物館友会の会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、

みんなくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

●観覧料..... 一般580円 / 大学生250円 / 高校生以下 無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

企画課 博物館事業係

Tel: 06-6878-8210 Fax: 06-6878-8242

https://www.minpaku.ac.jp/

